

『第三者評価に参加して～事業者からのコメント～』

いしみねほいくえん

当園は平成21年度に1回目の第三者評価事業に参加し、16年を経た今年度、2回目の参加を行いました。

平成30年に新保育所保育指針が施行されたことで、保育を見つめなおすきっかけとなり、職員間で保育の見直しや検討を行い、園の理念、方針、目標を変更するに至りました。大きな柱として、自己肯定感の育みと、主体的な活動を行うため、職員全員で保育の質を高めるという目標に向かい、園内研修を継続して行きました。

その中で新園舎建築と、創立80周年を迎える節目として、自園の保育事業を第三者に評価をしていただくことにより、更なる職員の意識向上ができると考えました。

参加するにあたり数年前から、不足している事柄や計画を立てていきましたが、今年度参加するにあたり、改めて職員全員で自己評価や環境構成の見直し等を行って行きました。

評価を受け、職員全員が気づきや課題を確認できたことで、園全体と、一人一人の専門職の資質の向上を図る上で、大変有意義な機会となりました。

ご指導と評価をしてくださった先生方、委員の皆様方には心から感謝申し上げます。

今後も保護者や地域の方に信頼される運営を行い、更なる保育の資質の向上に努めていきます。